

No.	ご意見	町の考え方
1	第1期障害福祉計画の結果として、目標に対する達成度の観点から総括し、問題点を明確にし、第2期障害福祉計画として効果的な施策を策定すること。	第1期障害福祉計画の支給量見込みに対し、平成18年度から平成20年度の実績を基に21年度から23年度の見込量を見直しております。また、事業推進の問題点を常に把握し、毎年度の事業運営において反映・解消するように努めていきます。なお、障害者施策につきましては、平成24年度予定の障害者プラン改定において反映するように十分検討していきます。
2	障害者の障害を軽減あるいは回復させるための最新の医療技術を紹介し、障害者の未来に希望をもたせること。	資料等がある場合は窓口にて紹介いたします。また、最新の情報を提供するように努めていきます。
3	障害者の自立支援から就職（就労）まで、経済的な負担と共に、具体的な職場の調査、およびその情報を公開し、障害者が就職しやすいような環境を整え、さらに就職後の継続支援まで行うこと。	就労移行支援、就労継続支援等の自立支援給付費サービス決定により経済的負担の軽減を図ると共に、福岡障害者職業センター等、障害者雇用支援機関を紹介します。また、就職後の日常生活への支援として家事援助サービスの決定やケアホーム入居等の相談を受けていきます。
4	障害者福祉施設の現場の声を十分に聞き取り、高い効果の期待できる施策の実現に取り組むこと。	今回の計画においては、障害者への意向調査の実施、障害者福祉施設からの意見収集に努めています。今後も皆様の声を参考にした障害者施策に取り組んでいきます。